

中学校用

(令和3・4・5・6年度用)

『 調 査 資 料 』

2020年(令和2年)6月

藤沢市教科用図書採択審議委員会

目 次

国 語 (国 語)	東京書籍・三省堂	1
	教育出版・光村図書出版	2
国 語 (書 写)	東京書籍・三省堂	3
	教育出版・光村図書出版	4
社 会 (地理的分野)	東京書籍・教育出版	5
	帝国書院・日本文教出版	6
社 会 (歴史的分野)	東京書籍・教育出版	7
	帝国書院・山川出版社	8
	日本文教出版・育鵬社	9
	学び舎	10
社 会 (公民的分野)	東京書籍・教育出版	11
	帝国書院・日本文教出版	12
	自由社・育鵬社	13
社 会 (地 図)	東京書籍・帝国書院	14
数 学 (数 学)	東京書籍・大日本図書	15
	学校図書・教育出版	16
	啓林館・数研出版	17
	日本文教出版	18
理 科 (理 科)	東京書籍・大日本図書	19
	学校図書・教育出版	20
	啓林館	21
音 楽 (一 般)	教育出版・教育芸術社	22
音 楽 (器楽合奏)	教育出版・教育芸術社	23
美 術 (美 術)	開隆堂・光村図書出版	24
	日本文教出版	25
保健体育 (保健体育)	東京書籍・大日本図書	26
	大修館書店・学研教育みらい	27
技術・家庭 (技術分野)	東京書籍・教育図書	28
	開隆堂	29
技術・家庭 (家庭分野)	東京書籍・教育図書	30
	開隆堂	31
外 国 語 (英 語)	東京書籍・開隆堂	32
	三省堂・教育出版	33
	光村図書出版・啓林館	34
特別の教科 道徳 (道 徳)	東京書籍・教育出版	35
	光村図書出版・日本文教出版	36
	学研教育みらい・廣済堂あかつき	37
	日本教科書	38

発行者の略称	東書	三省堂
書 名	新しい国語	現代の国語
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容と構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材が「目標」、「問いかけ」、「言葉の力」、「振り返り」という流れで示され、理解につながるポイントが各教材の学習前に提示されており、生徒が「主体的」に学べるような構成になっている。 ・名作の冒頭文が引用され、文学が少しでも身近に感じられるような工夫が見られ、読書活動の充実を促すようになっている。 ・文法の学習において「桃太郎」の冒頭部分が引用され、生徒が楽しく学べる工夫がされており、語彙の豊かさを培うことにつながっている。 ・1年「竹取物語」では、導入として古典とはどのようなものを学び、他の教材にふれながら段階的に学習に入る構成となっており、古文の学習に取り組む生徒にとって知的好奇心を高められる工夫がされている。 ・「漢字道場」では、他教科と関連付けて漢字を学べる内容になっており学校生活での活用を促す工夫が見られる。また、小学校の漢字の復習ページが充実しており、定着を図ることができる構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読み方を学ぼう」では、文章をどのように読めばいいのかという読み方が示され、他教材や読書などで、繰り返し活用できるような内容となっており、生徒の「主体的」な学びを促している。 ・「私の読書体験」では、作家自身の読書体験談が掲載され、読書の意義や効用について理解を深めることで、生徒の読書活動の充実が図られている。 ・本文の欄外に、漢字、意味、類義語、対義語などが記号付きで掲載され、分かりやすい紙面構成となっており、語彙の豊かさを培うことにつながる工夫がある。 ・1年「竹取物語」の学習では、情報量が厳選され、すっきりした紙面構成で原文と口語訳が大きく掲載されており、古文の学習に取り組む生徒にとって、読みやすくなっている。 ・「漢字を身につけよう」が各学年8カ所程度掲載されており、漢字を学習する機会を年間で継続して行える構成となっている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びの扉」では漫画を使って学習内容を説明する場面が見られ、生徒にとって親しみやすく抵抗感なく学ぶことができる表記となっている。 ・漢字のルビふりが3学年の教材でも丁寧にされていたり、文章の下に1行ごとにドットがふられていたりしており、視覚的に分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに基調色を設定し、紙面に使用する色数を厳選しており、また、表記もシンプルで見やすく読みやすくなっている。 ・「読み方を学ぼう」では、人物相関図など図解の説明資料があり、生徒の読解を助ける表記の工夫が見られる。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「根拠を明確にして自分の考えをもつ」ための学習活動として、地図を活用して意見文を書く活動が設定されており、興味をもって取り組める工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「根拠を明確にして自分の考えをもつ」ための学習活動として、情報を収集して投稿文を書く活動が設定され、共生社会の実現に向けた活動となっている。

発行者の略称	教出	光村
書 名	伝え合う言葉 中学国語	中学校 国語
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容と構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教材文や活動の前に「学びナビ」が設けられ内容をより深く読んだり、学習内容を認識したりするための手立てが示されており、生徒が「主体的」に学べるようになっている。 SDGsの視点で整理されたテーマごとに関連した書籍が写真やコメントとともに紹介されているほか、日本の文豪について生涯年表や写真が掲載され、説明が丁寧になされることで、生徒の読書活動の充実につながっている。 物語文や説明文の欄外に、語句の意味、類義語、対義語が掲載されるだけでなく、単元末にも再度まとめて示されており、語彙の豊かさを培うための紙面構成に工夫が見られる。 1年「竹取物語」の学習では原文、口語訳、説明文が場面ごとに区切られて順に掲載されており、古文を学習する際に、理解しやすい構成となっている。 「漢字の広場」が各学年に4カ所ずつ掲載されており漢字の意味や用法の理解を深める内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 上下2段に整理された「学習」があることで、活動の流れが明確になり、本単元で身につける力が焦点化され、「主体的」な学びにつながるような工夫がある。 読書活動が、「本の紹介」、「感想の共有」、「読書生活をデザイン」の3つの系統で提示され、学習活動に位置付けて紹介されており、読書活動の充実を図るための工夫が見られる。 本文の欄外に、新出漢字が本文の熟語とともに掲載され、漢字を習得しやすい内容となっており、語彙の豊かさを培うための工夫がある。 1年「竹取物語」の学習では、口語訳が、本文の左に記載されており、古文の学習に取り組む生徒にとって分かりやすい紙面構成となっている。 「漢字に親しもう」が各学年6カ所掲載され、新出漢字や熟語の読み・書きの問題などをバランスよく学習できる構成となっている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの観点で「学びをすすめるキーワード」が設けられ、マークが教材文にそれぞれ示されることで、今日的な課題を解決することを意識して学習に取り組むことを促す表記上の工夫が見られる。 「情報」に関する題材について、目次や本文にマークの表記があり、情報の扱い方の充実が意識的に図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話す」「聞く」「書く」の一単元にかかる時間数を精選し、単元数を多く設定することで、様々な活動を通して資質・能力をつける工夫が見られる。 二次元コードが多く配置され、生徒が参考資料の閲覧をすることで興味や関心を高めたり、学習理解を深めたりすることにつながる工夫がある。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「根拠を明確にして自分の考えをもつ」ための学習として、自己PR文を書く活動があり、実生活に生かすことができる言語活動となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「根拠を明確にして自分の考えをもつ」ための学習活動として、資料を引用しながらレポートを書く活動があり、情報活用能力の育成も図った言語活動となっている。

発行者の略称 書名	東書 新しい書写	三省堂 現代の書写
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れが、「①硬筆で書いて考える②毛筆で確認する③硬筆に生かして書く」とされ、生活の場に生かす実用的な構成となっている。 ・行書の特徴を理解しやすいように、行書の特徴が4つの記号で示され、朱書きの手本に記入している。また、文字を正しく整えて速く書くためのポイントが、「書写のかぎ」として簡潔にまとめられている。 ・日常の学習や生活に役立てるために、巻末に「書写活用ブック」や「生活に広げよう」がある。 ・主体的、対話的で深い学びを実現させるために、「①見つけよう②確かめよう③生かそう④振り返って話そう」の順で学習が進められる構成になっており、「振り返って話そう」では対話的な振り返りができる。 ・豊かな文字文化に触れられるように「文字のいずみ」では幅広く様々な文字文化が紹介され、学年ごとに書き初めについても扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れが、毛筆で数項目の学習をした後に硬筆でまとめの学習をするようになってきている。また、まとめの学習では、既習事項を振り返る工夫がされている。 ・行書の特徴を理解しやすいように、「書き方を学ぼう」の欄ではポイントが一目でわかるよう拡大され、詳しく説明されている。 ・日常の学習や生活に役立てるために、文字文化の豊かさを知り、名言集を作る学習内容が設定され、「やってみよう」「日常の書式」に実用的なことがまとめられている。 ・主体的、対話的で深い学びを実現させるために、朱書きの行書と楷書を比べながら、気づきを促す構成になっている。硬筆のページには「振り返ろう」が設定され、学びを確認することができる。 ・豊かな文字文化に触れられるように、「身のまわりの文字」では文字にかかわる仕事を取り上げ、手書き文字の魅力を伝えられるように工夫されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・配色の統一と分量を抑制したレイアウトで、情報を読み取りやすい紙面になっている。 ・AB判の紙面で硬筆の練習スペースが十分に確保されている。 ・筆のキャラクターや生徒のイラストがあり、セリフがアドバイスになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆遣いの説明が大きく書体に統一感があり、見やすい表記となっている。 ・学年ごと、コラム、資料編でページの基調となる色が区別されており、わかりやすくなっている。 ・紙面がカラフルでキャラクターと生徒のイラストによるポイントや補足説明が充実している。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルコンテンツのマークがある毛筆教材は、目次ページの二次元コードを使って運筆動画を視聴することができる。 ・巻頭に「書写で学ぶこと」「書写の学習の進め方」が示され、見通しをもった学習ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き方のコツが簡潔な説明や矢印によって示されており、習得すべき課題が明確になっている。 ・資料編の「日常の書式」で手紙の書き方を職場体験の礼状で示すなど、日常生活に生かせる工夫がある。

発行者の略称 書名	教出 中学書写	光村 中学書写
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れが、学習項目ごとに「①硬筆で試し書きをする②毛筆で考えて書く③硬筆でまとめをする」となっており、さらに単元のまとめとして、硬筆で繰り返し書き込めるまとめのページがある。 ・行書の特徴を理解しやすいように、朱書きの手本に書き順、筆脈を表す点線、ポイントが記入されているほか、筆の穂の写真を使った部分的な説明がある。また、「書く速さを意識して書く」などのまとめがある。 ・日常の学習や生活に役立つよう、既習事項をレポートやノートの書き方、案内文、掲示物の書き方などに活用する教材が設定されている。 ・主体的、対話的で深い学びを実現させるために、「①試し書き②考えよう③生かそう④まとめ書き⑤振り返ろう」の順で学習を進める構成になっている。また、話し合いの活動においては、学習用語の例示など具体的な手立てが示されている。 ・豊かな文字文化に触れられるようにコラムで写真資料を多数使いながら様々な文字文化が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れが、学習項目ごとに「①毛筆で確認する②硬筆に生かして書く」となっており、書写ブックの書き込み欄等で学習項目ごとに硬筆の学習ができるようになっている。 ・行書の特徴を理解しやすいように、学習のポイントだけを朱書きと筆の穂の写真、言葉で説明し、筆脈が点線で示されているほか「やってみよう」という導入ページがある。 ・日常の学習や生活に役立つよう、デザインと文字や、文字の使い分けを考える学習内容がある。また、「全国文字マップ」では、身近な文字が取り上げられている。 ・主体的、対話的で深い学びを実現させるために、「①考えよう②確かめよう③生かそう④学習を振り返る」の順で学習を進める構成になっている。 ・豊かな文字文化に触れられるように、UD書体などが取り上げられ、「季節のしおり」で伝統的な名句・名文が取り上げられ興味もてるようになっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・行間を適切に利用しながら説明が加えられている。 ・AB判紙面により、硬筆書き込み欄の幅に余裕があり、取り組みやすい工夫がされている。 ・説明やコラムの写真資料が豊富でわかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行間があり、紙面全体がすっきりとしていて見やすい。 ・硬筆練習冊子「書写ブック」では繰り返しの練習による書く力の定着を図ることができる。 ・説明やコラムの写真資料が厳選され、紙面が見やすくなっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・目次のページに二次元コードがあり毛筆教材の運筆動画など、学習に役立つ情報が活用できる。 ・巻頭に学習の進め方と、書写を通して学んでいくことが具体的に示されている。右ページに手本、左ページに説明や要点、硬筆練習欄があり、学習が見開きで完結するようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページに二次元コードがあり、姿勢や筆の持ち方や用具の片付け毛筆教材の運筆動画などを見て学習できるようになっている。 ・巻頭に学習の進め方が示され、学習のステップが統一されている。「学習の窓」でポイントが示され「学習を振り返る」では自分の取り組みを振り返ることができる。

調査資料

教科： 社会 種目：社会（地理的分野） NO. 1

発行者の略称	東書	教出
書名	新しい社会 地理	中学社会 地理 地域にまなぶ
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の提示場面や章や節のまとめの活動で、地理的な見方・考え方を働かせる課題が提示されている。 ・コラム「もっと地理」や地域の住人のコメントにより、別の視点からの情報を伝え、多面的・多角的な考え方が促されている。 ・世界の諸地域の学習の導入でSDGsを紹介するとともに、最終章では事例を示しながら、SDGsの視点から身近な地域の諸課題を探究できるように構成されている。 ・北方領土および竹島に関しては不法占拠、尖閣諸島に関しては固有の領土であり領土問題は存在しないと明記されている。 ・各章の導入で小学校での既習事項が明記されている。また、資料が他分野や他教科と関連する内容にはマーク等を付し、多面的・多角的な学習が促されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的な見方・考え方について、巻頭で紹介するとともに、各単元で見方・考え方を働かせる学習課題が提示されている。 ・章や節の末尾の「学習のまとめと表現」には、「表現しよう」や「意見を交換しよう」という学習活動を設け、生徒が様々な考えに触れられる工夫がなされている。 ・巻頭で「地球的課題とSDGs」を示すとともに、各地域の学習の最後に、地域の課題について考えるページが設けられている。 ・北方領土および竹島に関しては不法占拠、尖閣諸島に関しては固有の領土と明記されている。 ・ページ下に、他分野や他ページとの関連が明記されている。また、巻頭では、地図帳の使い方や地図の決まりなど小学校での学習の振り返りができるようになっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・地図やグラフなどは、落ち着いた色合いに対し、写真は鮮明で、視覚的に特色をとらえられるよう工夫がなされている。 ・写真や地図等の資料を大きく示すとともに、本文ページにキャラクターを置かず、学習内容や資料の読み取りに集中できるような工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域の単元では、学ぶ国の位置が地球儀上で示され、地球上の場所や、日本との位置関係が分かりやすくなっている。 ・世界と日本の諸地域の単元では、始めに示される地図を大きく示して地形の様子を見取りやすくし、グラフも間隔を広く取り、読み取りやすくなっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の二次元コードを読み取ることにより、他教科との関連や、練習問題、解説動画を見ることができる。 ・関東地方の人口分布図に、30万人以上の都市のひとつとして藤沢市が示されている。 ・世界と日本の諸地域の単元では、素朴な疑問から、課題をつかみ、追究し、解決するような学習過程になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「まなびリンク」の二次元コードを読み取ることにより、学習内容に関連するウェブサイトの一覧を見ることができる。 ・自然災害について、南海トラフ地震の想定震源域やハザードマップが示されている。 ・学習内容ごとに課題が示され、生徒が毎時間課題意識をもって学習に取り組める工夫がなされている。

調査資料

教科： 社会 種目： 社会（地理的分野） NO. 2

発行者の略称	帝国	日文
書名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	中学社会 地理的分野
編修の趣旨と工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的な見方・考え方について、巻頭で具体的に示すとともに、各節や章の終わりでも見方・考え方を働かせる活動が取り入れられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭や各章、ページごとに学習課題の解決に向けて手がかりとなる地理的な見方・考え方が示されている。
学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・多面的・多角的な考察ができるような単元を貫く問いが提示されているとともに各地の声をコラムで扱い、様々な考えに触れられる機会が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各章末の「ふりかえろう」で、学習を振り返りながら自分の意見がまとめられるとともに、様々な考えに触れられる活動が設けられている。
内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについて、巻頭で説明されているとともに、コラムで25テーマ取り扱われ、関連内容にカラーホイールが表示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカ州や東北地方の学習で持続可能な社会について取り扱い、SDGsの達成に向けた対話的な学習活動が設定されている。
教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土および竹島に関しては不法占拠、尖閣諸島に関しては固有の領土であり領土問題は存在しないと明記されている。 ・ページ下に、小学校での既習事項や他分野との関連が明記されている。また、世界の諸地域の単元では、各州の分量に偏りが無いよう構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土および竹島に関しては不法占拠、尖閣諸島に関しては固有の領土であり領土問題は存在しないと明記されている。 ・ページ下に、小学校での既習事項や他分野との関連を明記されている。また、各章の導入で、小学校の学習内容を振り返ることができるようになっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な語句などがすぐに調べられるよう、詳しい解説が同ページ欄外に記載されている。 ・1ページ内に関連資料を多く掲載することで、内容を幅広く理解する工夫がなされている。また、写真は近年撮影されたものが多く掲載され、現在の社会的事象が生徒に身近なものとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の単元では、文章量を抑え、地図や写真等の資料を豊富に大きく示すことで、学習への興味を惹きつける工夫がなされている。 ・地理的事象がもたらす人々の生活や文化の違いを視覚的にとらえやすくするため、現地の人々の姿が写った写真資料が多く使用されている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを読み取ることによりweb版「i地球儀」や動画、関連するNHKの動画等が視聴できる。 ・自然災害について、鎌倉市のハザードマップが取り上げられている。 ・生徒が主体的に学習に取り組めるよう、章や節ごとに問いが示されているとともに、各節の振り返りの学習で、「私たちとの関わり」について考える機会が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを読み取ることにより学習内容に関わるウェブサイト、動画、画像を見ることができる。 ・自然災害について、南海トラフ地震の想定震源域やハザードマップが示されている。 ・各章や節のまとめでは、ディベートなど対話的な学習活動を取り入れ、多様な考え方ができるよう促されている。

調査資料

教科： 社会 種目： 社会（歴史的分野） NO. 1

発行者の略称	東書	教出
書名	新しい社会 歴史	中学社会 歴史 未来をひらく
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭の学習で「歴史的な見方・考え方」が明示され、その後各単元でコーナーを設けて繰り返し意識させることにより、見方・考え方を深めさせる工夫がされている。 ・1単位時間の紙面構成が、「導入資料」「学習課題」「本文」、課題解決する「チェック&トライ」の流れで構造化され学びやすくなっている。 ・章の導入で立てた「探究課題」を各時間の積み重ねで追究し、章末の「まとめの活動」で思考ツールを使って解決する学習の流れが、主体的・対話的で深い学びを促している。 ・「もっと歴史」で、日本の神話など現代に受け継がれている文化が扱われ、伝統や文化の理解を深めさせている。また、領土問題については歴史的な経緯を取り上げ、背景からとらえさせている。 ・各章の導入は、小学校との接続を意識され編修になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭で図・絵・写真・新聞などの読み解き方が示されている。 ・導入で時代を象徴する資料と問いが示され、特色を概観し、歴史の大きな流れをつかめるように、節のまとめや単元配列が工夫されている。 ・章末の「学習のまとめと表現」では、時代の推移を大観する構造図と時代の特色を考察・表現する活動例が示めされ、次章の扉と合わせて時代の変化に着目しており、まとめから次の学習への導入として扱いやすい。 ・日本の「神話」が伝統的な祭祀との関連から紹介されている。また、文化財を通して日本の伝統文化や世界の多様な文化に注目させるとともに、領土問題などが取り上げられている。 ・歴史の流れや説明・比較検討など、多面的・多角的に整理しながら表現する学習ができるようになっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判で図版が大きく見やすい。 ・巻末の折り込み年表がシンプルでわかりやすく、各ページの見開き下部にも年表が示され、通史上の細かな時期までつかみやすい。特に世界史の単元では、日本の歴史との対比や関連付けをして学ぶことができる。 ・巻末に詳しい用語解説があり、生徒が自主的に調べ学ぶことができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判で図版が大きく見やすい。 ・巻末の折り込み年表が現代までを通して一覧できる構成で、視覚的に工夫されている。 ・各ページのタイトルに工夫が見られ、関心を持たせやすい。またタイトル上に年表を載せて学習内容の位置が明示されており、意識しながら学習ができるようになっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・各章、各時間の学びが一貫しており、全ての生徒が学びやすくなっている。 ・武士の館、定期市などの『一遍聖絵』及び後醍醐天皇の肖像画は「神奈川県清浄光寺〔遊行寺〕蔵」と表示され、本市の生徒に対し、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時期や推移・比較・関連の視点が例示され、時代間の共通点や差違、因果関係や現代との関連についての課題を考えさせている。 ・武士の館や備前国福岡の市などの『一遍上人絵伝』と後醍醐天皇は「清浄光寺〔遊行寺〕蔵」と記述されており、本市生徒も、興味を持つことができる。

調査資料

教科： 社会 種目： 社会（歴史的分野） NO. 2

発行者の略称	帝国	山川
書名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	中学歴史 日本と世界
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の特色に対する論理的な説明があり、章のふりかえりでは、高等学校の学習にも円滑な接続が期待できる「見方・考え方」「多面的・多角的な考察」の充実が図られている。 ・単元が構造化されていて、主体的・対話的で深い学びができ、確認から説明へのつながりが苦手な生徒も取り組みやすいよう工夫されている。 ・共通点や差違、因果関係や現代との関連などの比較や両論併記した資料が紹介され、異なる考えや対立する考えにふれる工夫がされている。 ・日本の「神話」が記紀との関係や諸外国の神話との比較から紹介されている。また、多様な日本の伝統文化に注目させるとともに、領土問題なども写真を載せるなどしてわかりやすく取り上げられている。 ・一般の人々の姿も積極的に描き、身近な生活や文化の目線で歴史を捉えさせるように工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇世紀の世界」が見開きであり、同時代の世界と日本を大観しやすい。また、現代史の記述が詳しく、公民分野の「現代の社会」や高等学校の学習につなげることができる。 ・「地域からのアプローチ」で身近な地域の学習もでき、マクロとミクロ両方の視点から歴史をとらえることができるようになっている。 ・キング牧師やオバマ大統領、緒方貞子氏など、民族融和や平和の構築に寄与した人が幅広く取り上げられている。 ・「歴史へのアプローチ」では、日本の領土の変遷等について、深く掘り下げて解説されている。 ・各章のまとめで、いろいろな立場からその時代を振り返るなどして考えが深められるような工夫がされている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判で図版が大きく見やすい。 ・統一して、各ページに年表を載せることで、その時間の学習事項が全体のどの部分であるかをつかみやすくする工夫がされている。また、巻末の年表が表裏にまとめられていて使いやすい。 ・イラストのレイアウトも見やすく、色使いがカラフルである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判で見やすい。 ・各章の初めに詳しい世界史と対照できる詳しい年表が掲載され、さらにその時代の世界の様子地図があり、世界の変遷について、わかるよう工夫がされている。 ・文字サイズを小さくすることで情報量を増やし、詳しい説明がされている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の冒頭で時代を概観するページが設けられ、イメージが掴みやすい。また、各章のまとめで自分の見方・考え方、思考の深まりが確認できるようになっている。 ・『一遍上人絵伝』は、「神奈川県藤沢市清浄光寺（遊行寺）蔵」と藤沢市を記述されており、本市生徒の歴史への関心を高めることにつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に現代の世界地図があり、各時代の世界の状況を視覚的に理解しやすくする工夫がされている。 ・「後醍醐天皇」『一遍上人絵伝』は「神奈川県清浄光寺蔵」と明記されている。また、円覚寺等の身近な写真が紹介されており、本市の生徒も、興味を持って学習できると思われる。

調査資料

教科： 社会 種目： 社会（歴史的分野） NO. 3

発行者の略称	日文	育鵬社
書名	中学社会 歴史的分野	[最新] 新しい日本の歴史
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭の学習で小学校の復習を行いながら「歴史的な見方・考え方」が説明され、各時間の導入で課題の解決に向けた手がかりとなる歴史的な見方・考え方の例が示されている。 ・1単位時間の紙面が、「導入資料」「学習課題」「本文」「深めよう」「確認」の流れで構造化され学びやすくなっている。 ・「チャレンジ歴史」のコーナーが設けられ、主体的・対話的で深い学びを実現できるように工夫がされている。 ・「歴史を掘り下げる」では、日本の神話や文化財を守り伝える仕事、冷戦終結後の近隣諸国との関係として領土問題の経緯と取り組み等、幅広くテーマを取り上げ解説されている。 ・巻末の歴史学習の基礎資料で、難解な土地制度の理解を促す工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の冒頭では、「鳥の目」で歴史の大きな流れを一目でわかる歴史絵巻によって時代を大観でき、「虫の目」で各時代を象徴する歴史的事象の特色をつかむ工夫がされている。 ・世界の歴史とのかかわりの中で、日本の歴史を考える視点を養う資料が掲載されている。 ・章末の「ターニングポイント」のコーナーでは、一つの事象を多面的・多角的に取り上げ、考察するよう工夫がされている。 ・日本が抱える領土問題については、「歴史ズームイン わが国の領土をめぐる問題の歴史」で、近隣諸国との課題という視点から紹介がされている。 ・日本の神話だけでなく、日本人の宗教観や外来文化との融合なども紹介されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判で見やすい。 ・見開き右端に学習している時代や世紀を表すスケール、左側に範囲内の小年表を載せ、時期が意識させられている。 ・「歴史との対話を未来に活かす」では、人名・事項索引の他にテーマ別索引をもうけ、調べやすくする工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判で図版が大きく見やすい。 ・巻末に年表が表裏1枚の折り込みでまとめられており、日本の出来事と世界の出来事を矢印でつなげており、関連を見ることができる。 ・絵や図中の細かい部分に番号を振って注釈を付けるなどの配慮がみられる。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・文章が平易でわかりやすく、本文を読むだけでイメージがわきやすいため、どの生徒でも学習しやすいものとなっている。 ・『一遍上人絵伝』は「神奈川県清浄光寺（遊行寺）蔵」と記述され、本市の生徒も、興味を持って学習できると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各章末「歴史博物館」では、各時代を主体的に、深く学ぶための工夫がなされている。 ・「神奈川県清浄光寺蔵」と書かれた『一遍上人絵伝』や「後醍醐天皇」が掲載され、別欄で清浄光寺を藤沢市と記載され、本市生徒の歴史に関する関心を高めることにつながる。

発行者の略称	学び舎	
書 名	ともに学ぶ人間の歴史	
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容と構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各章の冒頭で、時代の特色を世界との比較、関連について考えさせ、章末に、因果関係、比較、変化、推移に注目し、見方・考え方を育成させる工夫がされている。 文献、体験、探究課題、ICTを活用した課題など、多様な手段で、主体的に「問い」を立て、他者との対話を通して自分の考えを深めていく学びにつながるよう工夫がされている。 世界史とのつながり、相互の関わりや文化・生活の多様性といった視点をふまえた学習が意識された構成になっている。 具体的場面や時代を生きる人々の姿を通して、時代の特色が理解できるように構成されている。 民衆の生き方に着目し、地域の視点から時代の特色をとらえる工夫がされている。 	
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> A判で図版が大きい。 巻末の年表は12ページにわたり、できごと、文化、世界とのつながりを見渡せる構成になっており、関連する図版も掲載されている。 全体的に文献資料、読み物資料が豊富で、写真資料等も読み取って活用できるよう実物大にするなどの工夫がされている。 	
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生活のなかにある、文化の多様性に配慮した例が挙げられている。 「清浄光寺蔵」と書かれた『一遍聖絵』や「念仏札」を配る説明図、「材木座」の文字が見える説明地図など地域の歴史に触れられており、本市生徒の歴史に関する関心を高めることにつながる。 	

発行者の略称	東書	教出
書 名	新しい社会 公民	中学社会 公民 とともに生きる
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容と構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「18歳へのステップ」を掲載し、実際の選挙の流れや契約における注意点を挙げて主権者意識を高め、必要な基礎的教養を身につけられるような工夫がされている。 ・「みんなでチャレンジ」を設定し、主体的・対話的な活動を通して、多様な意見に触れながら学習を深められるよう構成されている。 ・「公民にアクセス」「もっと公民」などで現代社会の諸課題を明示し、その解決のための構想を持つことで持続可能な社会づくりに向かう社会参画の意識が高められるよう配慮されている。 ・文化の継承と創造に関する学習として、日本の伝統文化とともに、多文化共生について扱い、広い視野に立って考えられるような配慮がある。 ・声優の仕事をしている著名人の具体例や、「スキルアップ」の具体資料を扱い、労働の意義や役割について自分事としてとらえられるような工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「18歳選挙権と私たち」を掲載し、主権者として政治に参加することの大切さを理解し、公民として必要な基礎的教養を身につけられるような工夫がされている。 ・各章の導入として設定された「学習のはじめに」で、着目すべき『見方・考え方』を明示し、見通しを立てて学習を進めることにより現代社会の見方・考え方を養えるよう構成されている。 ・ページの下部にSDGsに関連する内容を表示し、終章において、私の提案「自分を変える、社会を変える」を作成することで、社会参画意識が高められるよう配慮されている。 ・文化の継承と創造に関する学習として、伝統文化を紹介し、現代の日本の文化と関連させて理解させるような工夫がある。 ・労働の意義や役割について、「起業にチャレンジしてみよう」などを設定し、仕事への興味や関心を高め労働の価値を見出すことができるような工夫がある。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きの2ページで導入から振り返りまでの内容が整理され、生徒が学習しやすいような工夫がある。 ・グラフや地図など、カラーユニバーサルデザインにより、すべての生徒に判読しやすい色が使われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きの2ページで社会の基本的な仕組みを理解し、「確認」「表現」に取り組むことで、段階的な学習ができるような工夫がある。 ・カラーユニバーサルデザインにより、すべての生徒に判読しやすい配色が使われている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「導入の活動」や「もっと公民」などのコーナーでは、生徒が身近に感じるような資料を取り上げ、興味関心をもち、課題を追究できるような工夫がある。 ・他教科との繋がりや、内容等を振り返るICT教材が充実し、学習を深めていくための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「公民の窓」や「公民の技」などの学習コラムでは、生徒が身近に感じるような題材を取り上げ、興味関心を広げられるような工夫がある。 ・各章のはじめに、内容に関連した「まなびリンク」があり、ICTを活用した学習への配慮がある。

調査資料

教科： 社会 種目： 社会（公民的分野） NO. 2

発行者の略称	帝国	日文
書名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	中学社会 公民的分野
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の前に」では、市長選挙を題材とした学習課題が設定され、政治の在り方や主権者としての立場を考えながら、必要な基礎的教養が身につけられるような工夫がある。 ・「アクティブ公民」を設け、現代社会にみられる課題の解決に向けた選択・判断に取り組む主体的・対話的な学習活動を通して深い学びが実現できるよう構成されている。 ・「未来に向けて」や「よりよい社会を目指して」では、現代社会の諸課題を扱い、「貧困解消と環境保全」では、地球規模の課題を扱うなど、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識が高められるよう配慮されている。 ・文化の継承と創造に関する学習として、日常生活における文化から始まり伝統文化とともに文化の多様性や多文化共生の内容が扱われている。 ・「パン屋を起業しよう」の活動を通して、食品ロスなどの社会問題や、長時間労働等、労働をとりまく課題について主体的に解決を図りながら労働の意義や役割を理解できるような工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法教育・主権者教育・消費者教育・キャリア教育・金融リテラシー教育等の内容を扱い、必要な基礎的教養を身につけられるように工夫されている。 ・「アクティビティ」に問いが設定され、現代社会の「見方・考え方」を働かせながら、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう構成されている。 ・「チャレンジ公民」や「明日に向かって」で、地域の抱える課題などについて考える活動が設定され身近な題材を使って、社会参画意識を高められるよう配慮されている。 ・文化の継承と創造に関する学習として、伝統行事が扱われ、自国の郷土を愛する心情を育むとともに国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるような配慮がある。 ・「アクティビティ」が設定され、労働の意義や役割について、自分事として捉えられるような工夫がある。また、女性や高齢者等における労働問題について、多くの記述がある。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・各章・節の冒頭で先の見通しをもたせ、末尾や各ページには活動や資料活用の視点が提示されるなど、生徒が使いやすいような工夫がある。 ・図表・グラフなど、カラーユニバーサルデザインにより、すべての生徒に判読しやすい色が使われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の終わりに、学んだ知識を活用して諸問題について考えるコーナーが設定され、生徒が学習しやすいような工夫がある。 ・図版等を大きくして見やすくし、すべての生徒に判読しやすい色が使われている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「先輩たちの選択」では、学習内容と関わりが深い人物の言葉を紹介し生徒が身近に感じ、取り組めるような工夫がある。 ・ICT教材として、様々な資料を提示し、学習の理解を深める工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後起こりうる身近な課題を取り上げ、資料を読み取り多面的な視点で考えられるような工夫がある ・ICT教材を含む様々な資料が提示され、生徒が教材を身近に感じ取り組めるような工夫がある。

発行者の略称	自由社	育鵬社
書 名	新しい公民教科書	新しいみんなの公民
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容と構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「個人と社会生活」・「立憲国家と国民」「日本国憲法と立憲的民主政治」等の単元が設定され、必要な基礎的教養が身につけられるように配置されている。 ・「アクティブに深めよう」が設定され、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう構成されている。 ・終章の「持続可能な社会を目指して」で、「レポートと卒業論文をつくろう」を設けることにより、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識が高められるよう配慮されている。 ・文化の継承と創造に関する学習として、序章において、日本の伝統と文化を扱い、また、歴史的な資料を配置することで、日本社会に受け継がれてきた日本人の精神が紹介されている。 ・「幸せな経済生活」の単元で、「働くことの意味」が扱われ、労働の意義や役割について理解できるよう設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を設定し、生徒が課題の内容をつかみ、調べ、まとめるという学習過程で、公民として必要な基礎的教養を身につけられるよう構成されている。 ・「スキルアップ」や「TRY！」などの言語活動が設定され、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう構成されている。 ・巻頭巻末に持続可能な開発目標（SDGs）に関する資料を扱うとともに、「よりよい社会をめざして」も設定し、持続可能な社会づくりに向かうための社会参画意識が高められるよう配慮されている。 ・文化の継承と創造に関する学習のとして、日本の伝統と文化を紹介する写真・グラフや現代社会の特色を表す絵や図などが本文中8ページ及び巻末にも扱われている。 ・「学習を深めよう」では、日本企業の技術力とアイデアに関する事例を取り上げ、労働の意義や役割が理解できるような工夫がある。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・より深く、発展的な学習ができるよう、重要事項が複数の単元で繰り返し扱われ、生徒が理解しやすいような工夫がある。 ・各章末の「学習のまとめと発展」は本文より大きめのフォントが使用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を説明したり、関連事項を取り上げた「学習を深めよう」を設けたり、生徒が使いやすいような工夫がある。 ・カラーユニバーサルデザインにより、すべての生徒に判読しやすい色が使われている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的事項を厳選し、各教材を関連付けてまとめ、生徒が学びやすくなるような工夫がある。 ・重要事項を複数の単元で繰り返し学習できるよう編集されていることにより、生徒が、より深く学習できるような工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象について、写真資料や解説を掲載し、生徒がイメージをもてるような工夫がある。 ・「学習を深めよう」では、学習内容をさらに掘り下げ、より深い知識が身につけられるような工夫がある。

調査資料

教科： 社会 種目： 地図 NO. 1

発行者の略称	東書	帝国
書名	新しい社会 地図	中学校社会科地図
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「ジャンプ」という注釈をつけることで、関連のあるページを示し、様々な資料をもとに考察するような工夫がされている。 ・二次元コードで、白地図や関連するサイトに簡単にアクセスでき、最新の状況や傾向がつかみやすく、生徒が興味を持って取り組むことができるようになっている。 ・地域ごとの課題に即した主題図が多く掲載され、地域やテーマに沿った学習ができる配列になっている。 ・「日本の自然環境（災害・環境問題）」で、日本全体の自然災害や防災安全における状況を、俯瞰して把握することができるようになっている。 ・SDGsや国際紛争など、世界的な課題と地図とを関連付けるなど、多面的・多角的に考察するための資料が多数掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページの中にある「地図活用」の課題に取り組むことで、生徒の地図活用の技能が高められるよう工夫されている。 ・二次元コードを利用することで、NHK for Schoolなどの動画や衛星写真、「地図クイズ」などで小学校の復習内容に自主的に取り組むことができる。 ・地域ごとに自然・気候・人口・産業の主題図を掲載し、地域ごとの特性がつかみやすい配列になっている。 ・「日本の自然災害・防災」や地方ごとの「防災」のコーナーで詳しく記載し、防災意識を高めるための工夫がされている。 ・年表や国境の変遷など、歴史的事象について地域のテーマごとにまとめられ、歴史的分野などとの関連性が図られている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・AB判サイズで製本され、生徒が保管し、持ち運びしやすい。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用しており文字が見やすく、落ち着いた色遣いで目への刺激を少なくする配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽量化された大判のA4サイズで、広域の確認がしやすくなっている。 ・カラーユニバーサルデザインで、文字の色合いや字体を変え、生徒が識別しやすい工夫がされている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・TOKYO2020の会場が掲載されており、藤沢市にもオリンピック会場があることが確認でき、興味を持って学習に取り組むことができる。 ・拡大図や主題図を見開きで見ることができ、一目で世界の諸地域や日本の地方ごとの様々な特徴を読み取り、活用するための工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行で訪れる京都市や奈良市の中心部の観光地の重要文化財などが詳しく記載され、事前・事後学習に活用することができる。 ・地図として使用するだけでなく、地図と様々な資料・データを関連付けることで、必要な情報を読み取り、活用するための工夫がされている。

発行者の略称	東書	大日本
書 名	新しい数学	数学の世界
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「深い学びのページ」では、問題発見や解決の過程が示されており、自らの力で問題解決しやすい工夫がされ、統合的、発展的に考えるきっかけが示されている。 ・デジタルコンテンツでは、関数のグラフや動点の問題、図形などを動的に観察できるシミュレーションが用意されている。 ・Q（考えてみよう・調べてみよう）では、既習を生かした問題解決的な学習内容が取り入れられ、身近な事象が提示されていることで、数学的な活動を通して主体的な学習につなげることができる。 ・「章とびら」や「節の導入」では、日常生活や社会の事象の中にある数学を学び、数学と生活が密接な関係であるということを学ぶと共に、知識や技能を問う工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・章や節の導入では、現代的な様々な数学的課題に対し、問題発見から解決の流れを意識することで、学びを深めることができる課題が多く掲載されている。 ・ウェブコンテンツでは、二次元コードで各章の視覚的教材を見ることが可能で、教科書の補助的な資料が多く、考えを深める工夫がある。 ・「活用・探究」のページでは、課題解決のために必要な情報の整理の仕方などの手立てがわかりやすく書かれており、学習したことを活用して探究する問題が設けられている。 ・各章末では、身近な問題や他教科との関わりのある題材が多くあり、生活と数学の関わりも紹介され、生徒の興味を引き出すような工夫がある。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・問題量は適切で、生徒の理解に合わせて様々な難易度の問題が段階的に配置されている。 ・例や問いに罫線を入れてまとまりを示し数式どうしの行間を広げて、余白を生かしたシンプルなデザインが使用されている。 ・「虫めがねマーク」では、生徒の目線になって考えられるような方向性が示されており、思考を手助けできるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題は精選されており、時間をかけて、しっかりと計算ができる工夫がされている。 ・単色で見やすく、1年生と2・3年生では文字の大きさや表現を変えており、小学校や高等学校との円滑な接続を図る工夫がされている。 ・「社会にリンク」では、さまざまな職業と数学とのつながりが示され、興味をもって学べるようになっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する→ふり返る→深める」の過程が示され、問題解決の進め方を意識して取り組める工夫がされている。 ・巻末の章末問題では、解答だけでなく、考え方が丁寧に記載され、自分の考えを表現する「記述式の問題」もあり、思考力・判断力・表現力を伸ばすための工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動→例→例題を適切に配置し学習の流れがわかりやすく構成されている。 ・巻末の補充問題や総合問題には、生徒が練習したり、確かめたりする問題が豊富に掲載されている。

発行者の略称	学 区	教 出
書 名	中学校数学	中学数学
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容と構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「Q」や「数学的活動のページ」では、話し合いをベースに課題解決に取り組み、さらに問題を発見したり、考えたりできる構成より、対話的で深い学びへつながるようになっている。 ・ICTの活用について、複数のコンテンツが用意されており、教科書の内容をさらに深め、考えることのできる動画が多くある。 ・章の導入では、身近な題材を使い、自分で見つけた課題を解決し、「どんなことがわかったかな」でまとめ、「次の課題へ！」とつながり、主体的に取り組める展開になっている。 ・「役立つ数学」や「Tea Break」では、歴史的背景や国際社会・環境を考え、随所に創造性を養える場面が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学の広場」では、日常生活に結びついている題材や、対話を通して学習を深めることのできる題材が取り入れられている。 ・「まなびリンク」では、データ収集などに役立つ情報やグラフ、図などのわかりづらいものがウェブで見られるようになっている。 ・「学習のプロセス」では、数学的活動のプロセスが例示してあり、自分の考えを説明したり、話し合ったりする主体的な活動が取り入れられている。 ・「章のとびら」や「数学メモ」では、数学の社会や生活に関する話題や数学の有用性が感じられる題材が扱われている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・例はノート形式の解答で見やすく、豊富な課題量で、基礎基本の定着が図れるようになっている。 ・章ごとに色分けされ、図や表、グラフ等も大きく、メモリの細かい点まで書けるよう見開きのページが挿入されるなどの工夫が見られる。 ・「アイデアボード」が裏見返しに添付してあり、ホワイトボードマーカーで書いたり消したりでき、個人やグループでの活動が有意義に行えるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な問題や発展的な問題の量が適切で、生徒が繰り返し学習できる工夫がされている。 ・「基本の問題」「実力アップ問題」等、基礎から発展までの問題の表記がわかりやすい。 ・グラフ学習に取り組みやすいように巻末の座標平面が切り取れるようになっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・考え方の流れが示され、考えやすい構成になっており、「Q」では数学的活動の手順が記されていて、どのような根拠をもとに考えていくべきか見通しがもてるように工夫されている。 ・巻末の「さらなる数学へ」では、SDGsや疑問を考えようなど、発展的な学習内容が提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活用問題では、理解が深まるよう問題解決の流れが示されている。 ・巻末の「学びのマップ」には、前学年までの学習を振り返り、復習したうえで、本学年の内容を進めることができるよう工夫されている。

発行者の略称	啓林館	数研
書 名	未来へひろがる数学	これからの数学
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容と構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「説明しよう」では、正しいかどうかを問う問題が取り入れられ、他の生徒と意見交換し合いながら、学びを深めることができる。 ・デジタルコンテンツ内の動画が特に充実しており、授業内容のみならず、章末問題やまとめ問題など多くあり、苦手な生徒への手立てもあるため、どの生徒にも意欲的に取り組める構成となっている。 ・各章の問題では、内容の確認やつまづいた部分に戻って学習ができるように工夫されており、3段階のステップを通して、理解が深められるようになっている。 ・自分から学ぼう編の「学びをいかそう」では、数学の学習意義が感じられるように実際の社会に関する問題が多く扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学旅行」では、日常の中に潜んでいる数学の題材が取り入れられ、生徒たちが今後活用できるような工夫がされている。 ・Linkでは、多くのコンテンツがあり授業内容だけでなく、視覚的教材も豊富で、資料や補充問題も見ることができるようになっている。 ・対話形式で掲載されている問題があり、生徒が主体的に活動し、見通しをもって取り組めるようになっている。 ・「やってみよう」や「TRY」では、学んだ内容を活用する機会が豊富に設けられており、数学の有用性を感じられるようになっている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめの問題が見開き2ページもあり、量も豊富である。 ・色使いがシンプルで、必要な箇所だけに色を使い、着目する視点がわかりやすく工夫されている。 ・年間指導数が短く設定されていることで、ゆとりをもって指導を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題数が豊富にあり、見やすい構成になっている。 ・例題の解説や新しい用語にはスペースが空けられていて、見やすい表記になっている。 ・「探究ノート」が別冊でついており、補助教材として話し合い活動に有用である。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学ライブラリー」には、数学にまつわる内容が記載され、生徒の興味が高まる工夫がなされているほか、「学びのあしあと」に記録を付けることで、自分の苦手な部分を意識することができるようになっている。 ・巻末の「力をつけよう」では、別の視点で考えるように促し、論理的に多面的な考え方ができるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「TRY」のコーナーなどでは学んだ内容を活用する機会が豊富に設けられており、生徒が多様な考えを伝え合いながら、解決を目指す活動ができるようになっている。 ・「探究ノート」では、本冊で学んだ内容も記載され、生徒自らがどのように考えていけばよいかのヒントや表現方法を学ぶことができるようになっている。

発行者の略称	日文	
書名	中学数学	
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「対話シート」を活用して、対話的で深い学びを進めることができ、「とりくんでみよう」では、章で学んだ内容を活用し、説明させる問題が充実している。 ・WEBマークでは、授業内容やその補足などのコンテンツが多くあり、一問一答の形式で、生徒が扱いやすいものになっている。 ・データ収集では、日常のデータを用いるなどして、生徒の身近な題材で考えることで取り組みやすくなっており、挿絵で考えるヒントが的確で、主体的に学べる工夫がある。 ・「暮らしと数学」や「数学研究室」では、子どもたちの興味を引き出すような題材が多数あり、数学の有用性を実感することができる工夫がある。 	
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・問題が精選されており、実態に応じて、ゆとりをもった授業展開を行うことができる。 ・新出漢字にはルビがあり、色で区別がつくようになっており、小学校で学習しない漢字には見開きごとに振り仮名がついている。 ・「対話シート」はノートに貼ることを考慮して、一般的なノートよりひとまわり小さいサイズになっており扱いやすい。 	
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことをほかの場面で活用したり、条件を変えたりする問題に取り組む場面が設けられ、生徒の理解を深めることができる。 ・巻末の「数学マイトライ」では、学んだことを広げたり深めたりするための課題が取り上げられている。 	

発行者の略称	東書	大日本
書 名	新しい科学	理科の世界
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容と構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「レッツ スタート!」「課題に対する自分の考えは?」「調べ方を考えよう」「考察しよう」など、生徒が探究的な学習を主体的に取り組めるよう配慮されている。 ・導入で、身のまわりの生物や日常的に目にする現象が多く取り上げられている。「つながる科学」では、日常生活や社会と学習内容との関連が見えるような工夫があり、マンガでの記載も取り入れられている。さらにSDGsが取り上げられ、学習を通して持続可能な社会について考えられる機会にもなっている。 ・「どこでも科学」では、身近な材料のできる実験やものづくりの題材が数多く取り上げられ、手軽なものづくりを通して学習内容の理解が深まるよう工夫されている。 ・生徒が理科の見方や考え方を働かせやすいように「課題に対する自分の考えは?」や「調べ方を考えよう」などが実験のページに掲載されている。 ・デジタルコンテンツやインターネット活用事例を「Dマーク」から参照できるようになっており、ICTの活用を促すよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究の進め方」では、問題の発見から考察、発表までの流れが具体的な課題をもとに示され、見通しをもって探究できるよう配慮されている。 ・「くらしの中の理科」や「Professional」では学習内容とつながりのある日常生活の話題や理科に関連する職業等が掲載され、生徒の興味・関心に応じて、様々な学びが広がるような工夫がされている。 ・生物、気象、天体を例に継続的な観察・観測の必要性が掲載されている。「やってみよう」で、目の模型の作り方等を取り上げ、主体的な体験活動によって創造性を育めるよう工夫されている。 ・見通しをもって観察実験ができるよう、「目的」「着目点」が示されてある。また「結果の整理」等により、実験の振り返りがしやすい構成となっている。 ・タブレットマークが掲載されており、ウェブサイトを活用する工夫がされている。巻末にある「理科の世界WEB」の二次元コードから、科学館や博物館のウェブサイトにアクセスできる。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A4スリム判のため、観察実験の手順をたどりやすい。 ・フローチャート等、学習しやすく工夫されている。また、カラーユニバーサルデザインが採用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B5判で、机にノートと同時に開いた状態で学習に取り組める。 ・「安全」「環境」など分かりやすいマークが付けられ、ユニバーサルデザインにも配慮されている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横須賀市の泥岩(1年)や横浜市の発電所(3年)、三浦市のハザードマップ(3年)が掲載されている。 ・実験や観察の方法が段階的にわかりやすく説明されている。また、「学びをいかして考えよう」等で学習内容を活用することで、より深い学びになるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地形を考えさせる写真で本市の江の島(1年)、気象で本市の百葉箱(2年)、環境保全で寒川町の魚道(3年)などが掲載されている。 ・「話し合おう」では、キャラクターの会話場面を掲載することで、対話的な学びを促すように工夫されている。

発行者の略称	学 区	教 出
書 名	中学校 科学	自然の研究 中学理科
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容と構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「どうやって理科を学ぶの？」では観察・実験において探究のプロセス等が、マークを用いて分かりやすく示されている。各章の初めに「Can-Do List」があり「できるようになりたい目標」が明示されている。 ・「なぜ理科を学ぶの？」で、私たちの生活が科学の知識と考え方によって成り立っていることや、学びが社会に役立つことが掲載されている。「理科のトリセツ」では、学習内容と社会の関連がわかりやすくまとめられている。 ・月の満ち欠けや季節の星座の単元では継続的な観察により、その現象の理解が深まる工夫がされている。また、手作り楽器や望遠鏡の工作等の体験活動を通して原理の理解が深まるような工夫がされている。 ・ページ上部の「この時間の課題」では、学習内容に必要な「理科としての見方・考え方」が示されページ下部にある「この時間のまとめ」につなげる構成で、授業の目標や課題を明確にして取り組むことができる。 ・章の振り返りが、二次元コードを使い専用サイトで行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究の進め方」では、大きく目立つようなマークをつけて、自然の探究の順序が分かりやすく示されている。 ・「ハローサイエンス」では、獲得した知識や技能が日常生活でどのように活用されているかが取り上げられている。 ・「やってみよう」「チャレンジ」で、生徒自身が主体的に取り組めるような体験活動が掲載され、原理や法則の理解を深めるような工夫がされている。 ・生徒が実験する目的を明確にして取り組めるよう、実験ページに目的がはっきりと提示されている。また、生徒の視点に立った表現で理科の見方や考え方がわかりやすく示されている。 ・「まなびリンク」という二次元コードが掲載されており、活用することで企業や博物館などのホームページから、深い学びができるよう工夫されている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びの交換－アイデアボードー」があり、生徒が意見交換を活発にできるような工夫がされている。 ・グラフ等は色の区別に加え、線種を変える等の工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に生物カード、原子のモデルカード、星座早見作成シートが掲載されている。 ・大きな文字のユニバーサルデザインフォントが採用されている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・化石の例で本市のナウマンゾウの化石(1年)や地震の隆起で本市の江の島(1年)、災害への対策で本市の津波の避難マーク(3年)が掲載されている。 ・「理科のトリセツ」をもとに個人で調べた内容を他者と共有して意見交換することで、自分自身の次の学習意欲に繋がるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光・音・力の単元で鎌倉市の警報器(1年)やエネルギーの変換で横浜市のジェットコースター、生物の多様性で川崎市の甘柿(3年)が掲載されている。 ・単元全般にわたって自分の考えを持ち、仲間と話し合いをし、考えを共有し、練り上げながら学習を展開していく構成となっている。

調査資料

教科： 理科 種目： 理科 NO. 3

発行者の略称	啓林館	
書名	未来へひろがるサイエンス	
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に、課題の把握・課題の追究・課題の解決という探究の過程がイメージしやすく図示されている。「探Q実験」では生徒が仮説を立て、実験を考えると活動が設定され、探究しようとする主体的な態度を育成できるよう工夫されている。 ・ 身近な生活と関係する「部活ラボ」等で、部活動、料理、職業などさまざまな観点から理科と日常生活との関わりを学ぶことができる。単元末の「ひろがる世界」では最新の科学技術や今日的課題が取り上げられ学習を広げ深める工夫がされている。 ・ 植物の観察において、定点観測の変化が写真でわかりやすく掲載され、その現象の理解が深まる工夫がなされている。また、原理や法則の理解につながるよう「深めるラボ」では電池を身近なもので作る方法等が掲載されている。 ・ キャラクターの発言等で、理科の見方・考え方を働かせた思考や表現の例が示されており、生徒が自発的に理科の見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。 ・ 二次元コードが掲載され、生徒がICTを効果的に活用し、充実した学習ができるよう工夫されている。 	
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末に「探Q実験」に合わせた「探Qシート」がついている。教科書に直接書き込む欄がある。 ・ 内容が理解しやすい配色・デザインが用いられている。 	
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小田原市の露頭(1年)、川崎市のタービン(2年)、本市のエネルギーの有効利用で太陽光発電住宅(3年)等が掲載されている。 ・ 「話し合ってみよう」等の場面があり、自分の考えを提案・発表をし、他者と意見交換をする活動が充実している。 	

調査資料

教科：音楽 種目：音楽（一般） NO. 1

発行者の略称	教出	教芸
書名	中学音楽 音楽のおくりもの	中学生の音楽
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱・創作・鑑賞と分野ごとにページが色分けされており、「学びのユニット」として各題材で扱うことのできる〔共通事項〕がわかるように工夫されている。 ・音楽が社会や生活に役立つ場面が紹介されており、音楽が生活を豊かにする心を育むことを理解できるようになっている。 ・Let's Tryの長唄「勸進帳」をうたおうでは、長唄をうたう際の姿勢や口三味線について詳しく記載があり、取り組みやすくなっている。 ・食べ物を使ったリズム創作やCMソングなどが扱われており、生徒が具体的にイメージしたり主体的に取り組めたりする工夫がされている。 ・鑑賞において掲載されている楽譜が多く、聴くことだけでなく、楽譜をヒントに考えることのできる手助けとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱と鑑賞は「深めよう音楽」で、創作は「レッツ クリエイト」「マイメロディ」で、吹き出しを活用しながら、示された〔共通教材〕に関連付けてどのように学習を進めるかが具体的に示されている。 ・震災復興の音楽や幅広い分野、年代の音楽が取り上げられており、音楽の移り変わりや違いに気づき、体感しながら学習できるようになっている。 ・巻頭口絵の「野村萬斎」の言葉は伝統や文化への関心を持つきっかけとなっているほか、どの学年も我が国や郷土の伝統音楽が、鑑賞と関連付けて丁寧にわかりやすく取り扱われている。 ・リズムや俳句の言葉の抑揚を生かした創作の活動では、自らの課題を明確にし取り組めるよう、具体的手順が示されている。 ・鑑賞においては、聴く際に注目する視点が設問等で示され、生徒が必要な情報を取り入れやすく、言葉で批評したり説明したりする手助けになっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容など作品のイメージがしやすいように写真や図、説明が多く掲載されている。 ・学びのユニットの図が見やすく、学びの狙いがつかみやすい表記となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「歌い継ごう日本の歌」や「心通う合唱」など親しみやすい曲から他者を尊重したり自然を愛する心を育んだりするような曲など幅広く取り上げられている。 ・五線の太さや音符の大きさ、段やページの区切り方が見やすい表記となっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・2・3年上の巻頭口絵にて「浜辺の歌」が辻堂海岸の写真とともに紹介されており、身近な場所であることから興味関心を持ちやすい。 ・湘南にゆかりのある作曲家「團伊玖磨」の言葉「A Message for you」が掲載され、時代と音楽の関わりに関心を持つきっかけとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「浜辺の歌」では、楽譜とは別に辻堂海岸の写真が歌詞とともに見やすく掲載され、湘南の海をイメージしながら歌詞を味わうことができるような工夫がされている。 ・神奈川県出身の指揮者「山田和樹」の言葉や指揮の様子が掲載され、生徒の体験的活動の充実に繋がる。

調査資料

教科：音楽 種目：音楽（器楽合奏） NO. 1

発行者の略称 書名	教出 音楽のおくりもの	教芸 中学生の器楽
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の前半には演奏の仕方についての学び、後半には合わせて演奏することでの学びと学習目的が明確に示され、主体的な学習展開ができるよう工夫されている。 ・「楽器と唱歌によるパッチワーク」のページでは唱歌についてわかりやすく記載されており、和楽器への動機づけや理解につながるよう工夫されている。 ・名曲旋律集では、音楽一般の教科書に取り上げられている鑑賞曲に関連している曲が多く掲載されており、鑑賞から表現活動につながるよう構成されている。 ・和楽器による「創作」の活動においては、個人からアンサンブルへと順序だてて学習できることに加え、複数の和楽器から自ら楽器を選択して行うなど主体的な学習ができるよう示されている。 ・「吹く楽器」と「弾く楽器」の区切りには、楽器の特徴を比較して主体的に学ぶページが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭口絵には、発信者からのメッセージや世界の多様な音楽の在り方について書かれており、音楽を学ぶ意味を考えるきっかけとなるよう工夫されている。 ・各楽器のページの最初に、楽器を知る意味や良さを感じることができるよう鑑賞参考曲が掲載されているほか、我が国の伝統音楽の奏法の良さや特徴が演奏を通して学習できる構成となっている。 ・「アンサンブルセミナー」のページでは、「共通事項」が示され、どのように関連付けて学習を進めるか吹き出しを用いて具体的に示されていることから、生徒の主体的・協働的な活動につながるよう工夫されている。 ・箏による「創作」の活動では、自分のイメージに合う音階を選んで旋律をつくる学習活動が分かりやすく示されている。 ・リコーダーのページで紹介されている楽曲には、アルトリコーダーとともにソプラノリコーダーの楽譜も掲載されており選択して学習できるよう工夫されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な曲から発展的な曲まで豊富に取り上げられており、3年間を通して様々な曲を扱うことができる。 ・楽器ごとの奏法が写真やイラストを使いわかりやすく掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストや写真が華美でなく、光沢も少なく、五線の太さや音符の大きさなど見やすくなっている。 ・本の綴じ方に、開きやすい工夫がされており扱いやすい。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・篠笛の奏法について、多くの写真とともに詳しく掲載され、楽曲も多く扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りばやしが盛んな本市において、郷土芸能に興味関心を高める写真や曲が扱われている。

調査資料

教科：美術 種目：美術 NO. 1

発行者の略称	開隆堂	光村
書名	美術1 発見と創造 美術2・3 探求と継承	美術1 美術2・3
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> 日本の作品や作家についての掲載に富んでいて、生徒が美術文化を身近に感じたり考えたりできるよう設定されるとともに、造形に関連した技法などが取り上げられている。 題材ごとに「学習の目標」を設け、題材の紹介や学習のねらいがわかりやすく伝えられている。 一つの題材について様々な角度から迫ることができる作品例を取り上げて、表現と鑑賞の学習が横断的に取り組めるようになっている。 対話の場면을写真で紹介したり、制作や鑑賞を協働して行う記述があったりするなど、話し合いや意見交換を促す工夫がされている。 1学年では美術のジャンルが「学びの地図」で紹介されており、学習内容が生徒に伝わりやすい。また、ページの下方に「他教科との関連マーク」を掲載し、関連づけて学習できる他教科の内容が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な国や地域、時代の作品が掲載されており、生徒が造形的な見方や考え方を働かせながら様々な作品や美術文化にふれて学習する工夫がされている。 表現活動の事例紹介では、制作者である生徒がどのように発想して、どのように制作に取り組んだのかが語り口調で説明されており、発想・構想の一助となっている。 表現と鑑賞のページが交互に構成されており、表現活動の内容とあわせて参考となるような作品の解説や時代背景、制作者の言葉などが文章で紹介されている。 共同制作をする場面や地域のよさを話し合う場面が設けられ、対話的な授業が展開しやすい。 1学年の巻頭で、図画工作から美術への流れが紹介されている。また、他教科や道徳とのつながりがコラム形式で掲載されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> A4ワイド判で識別しやすい配色、落ち着いた色合いとなっている。 1学年の学習分量は無理なく設定されており、2、3学年は一冊にまとまっているため、年間計画を立てる際、題材を扱いやすくなっている。 文字の大きさ、教科書で扱う記号・マークの色や形が統一されており、生徒が共通の認識や理解をできるような工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 標準のA4判で、持ち運びや机上で広げる上で扱いやすく、写真や図版なども大きくて見やすい。 1学年の巻末に掲載されている「学習を支える資料」では、道具の扱いに関する注意喚起が黄色の枠で提示されている。 見開きページは、題材のテーマや学習内容の全体イメージが把握できるようなレイアウトになっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 色彩と形からのメッセージや、暮らしに生かす作品の紹介があり、美術で学んだことを実生活につなげるためのイメージを持ちやすい。 「学習のポイント」「美術の用語」が必要箇所に提示されており、巻末に技法などの資料がまとめられており、自ら学べるような配慮がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品に関する音声ガイドや、技法などの動画が見られるコンテンツが充実していて、予習や復習に役立てやすい。 地域の魅力を伝える題材や、建築物からデザインの役割を考える題材が設定され、暮らしとの関わりを実感できるよう工夫されている。

発行者の略称	日文	
書 名	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と広がり 美術2・3下 学びの探求と未来	
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会で活躍するアーティストやアニメーションなどの作品を掲載し、美術に興味を持つきっかけを得やすくしており、美術が身近に感じられるような工夫がある。 ・ 「造形的な視点」の吹き出しを用いたり、「作者の言葉」で紹介したりするなどして、着眼点や考える視点に気付かせやすくする工夫が見られる。 ・ 各題材の冒頭で作品が大きく取り上げられており、鑑賞活動から表現活動に移る紙面構成になっている。 ・ 生徒がお互いにポーズを取って作品づくりをしたり、鑑賞の導入で意見交換したりするなど、生徒が協働して学習を進められるような工夫がされている。 ・ 1学年の巻頭では、小学校からのつながりを意識できるように、中学校3年間の学習の流れを系統立てた主な生徒作品で見通しを持たせている。 	
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・ A4ワイド判で高精細の印刷や原寸大図版などを取り入れ実物作品に近づけており、実感を持ちやすい。 ・ 3分冊構成となっており、学年の段階的なつながりを意識できるようになっている。 ・ 説明文が簡潔にまとめられていたり作品が大きく掲載されていたりするため、全体的に見やすい。 	
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の文化や伝統芸術に触れ、地域の活性化につながる着眼点を得られやすい。また、神奈川県所縁の「岡本太郎」について詳しく紹介されている。 ・ 空間デザインやパブリックアート等を題材として取り上げ、人々への配慮や自然との調和、身近な場所の見直しを考えられるようにしている。 	

発行者の略称	東書	大日本
書 名	新しい保健体育	中学校保健体育
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容と構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトル下の「見つける」から日常経験や小学校で学習したことが想起され、自己の振り返りを行い、それに対する疑問から主体的に学習が進められるようになっている。 ・各単元の冒頭で、自分の身の回りの事柄から考えるきっかけがあり「課題を見つける」「課題の解決」「活用する学び」の構成となっており、主体的・対話的で深い学びに繋がる工夫がされている。 ・思考力・判断力・表現力の育成について、思考を促すキャラクターの発言やポイントとなる箇所が明記されており、グラフや表を活用して考える工夫がなされている。 ・小学校で学んだこと、高校で学習することが明記されている。また、単元の学習内容と他教科との関連について、具体的に記されている。 ・口絵や読み物などで資料を多く取り上げ、章末資料で性の多様性、インターネットによるトラブルの例などが扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ選手のみならず研究者など多方面に活躍する人の写真やコメントが掲載されており、興味を持って学習が進められるようになっている。 ・「ミニ知識」の項目で、より詳しい単元の内容が書かれており、課題を見つけ解決したり、活用したりすることができ、主体的・対話的で深い学びに繋がるよう工夫がなされている。 ・思考力・判断力・表現力の育成について、学習した内容を活かして「活用して深めよう」で自他の課題に取り組みやすいように工夫がなされている。 ・「リンク」のマークで、他教科及び他学年との関連等について示されているとともに、章の始めには小学校で学んだこと、高校で学習することが掲載されている。 ・トピックスでは、アンガーマネジメントやがんの治療法の選択、子ども110番など今日的な話題が取り扱われている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・発問の表示の仕方が明確で、見通しを持った学習につながる工夫がなされている。 ・巻頭にマークの活用方法が示されているため、文章から資料につながりやすくなっている。 ・文章の近くに資料、写真や図などがあるため、文章だけでは理解できない箇所が補えるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のポイントとなるキーワードがわかりやすく示され、単元ごとに重要な語句がまとめられている。 ・導入に活用しやすい挿絵があり、興味を惹く工夫がなされている。 ・見開きの左側ページに本文、右側ページに資料や図が配置されているため、見やすくなっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元に関連したデジタルコンテンツがあり、インターネットを利用して学べる工夫がある。 ・自然災害について、自分たちが住んでいる地域の特徴に合わせて、地域安全マップの作成ができるよう工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元に関連したデジタルコンテンツがあり、補助資料映像やまとめ問題が掲載されている。 ・中学生で多い自転車事故や自然災害による傷害の防止など、数ページにわたり詳しく資料として取り扱われている。

調 査 資 料

教科： 保健体育 種目： 保健体育 NO. 2

発行者の略称	大修館	学研
書 名	最新 中学校保健体育	中学保健体育
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かなスポーツライフを実現するような意思決定や行動選択をする課題が記載されている。 ・「学習の流れ」が示され、見通しを持って学習に取り組んだり、学んだことを生かしたり、新たな課題を見つけたりして、主体的・対話的で深い学びに繋がるように工夫されている。 ・思考力・判断力・表現力の育成について、体験したことや学んだ知識をもとにして、思考・判断する活動が随所に配置されている。 ・章ごとに小学校で学習したこと、高校で学習することが明記されている。また「他教科」「関連」のマークがあり関連性がわかりやすい。 ・「がんとその予防」「免疫とがん治療」「携帯電話やスマートフォンの使用と健康問題」が特集資料として取り扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題をつかむ」や「カウンセリンググループ」の記載があり課題解決に役立てることができる。 ・「共働」と示され「調べる」「まとめる」「考える」「深める」などの具体的なグループ活動が設定されており、主体的・対話的で深い学びに繋がるように工夫されている。 ・思考力・判断力・表現力の育成について各項目で学習課題が明示され、課題解決に向けた話し合い活動を活用することによって、取り組みやすいよう工夫されている。 ・文章中に「関連」という記述があることで、小学校との関連と高校で学習することの見通しがわかりやすくなっている。 ・「探究しようよ！」の項目では「がんとその予防」以外にも治療法や病気や患者と共に生きることなど、深く学ぶことができるようになっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に関する資料や図・写真などが見やすい位置に配置されている。 ・図やイラストの配置がほぼ統一されたつくりになっており、見やすくなっている。 ・豊富な分量の補助資料や図などが本文に合わせた位置にあるため、活用しやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊富な文章量の中でも、重要なポイントが明確になっており、資料に目を向けやすい工夫がされている。 ・イラストなどの色が淡い色で表示されているため見やすくなっている。 ・文章中に「資料①」や「コラム」などと表記されていて、内容を深めやすくなるように工夫されている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・単元に関連した内容のサイトに直接アクセスできるようになっており、本文に関する情報を調べられる工夫がされている。 ・「クリーンなエネルギー」「広域避難場所の標識」「みんなでたのしむボッチャ」「防災ラジオ」と本市に関する様々な写真が取り上げられ生徒が身近に感じることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元に関連した内容が教科書サイトに掲載され、より詳しい資料などが閲覧できるようになっている。 ・海岸や河川を有する本市が重点を置く自然災害への取り組みについて、地震から津波被害を想定した避難行動が掲載されている。

調査資料

教科： 技術・家庭 種目： 技術・家庭（技術分野） NO. 1

発行者の略称	東書	教図
書名	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology	New技術・家庭 技術分野 明日を創造する
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識を「TECH Lab」や「技術のとびら」にまとめ掲載し、「問題解決カード」により、思考・判断・表現を身につけられるように工夫されている。 ・各編のはじめに「技術の最適化」が設けられ、技術の見方・考え方を捉えるための工夫がされている。 ・Dマークが付されており、巻末にまとめて二次元コード集がついており動画と資料のコンテンツを見ることができる。 ・巻末資料の「SDGsとテクノロジー」では、持続可能な社会に対して技術が果たしていく役割を多くの例や挿絵を用いてわかりやすく理解できるよう工夫されている。 ・道具を使用する注意点を掲載しているほか「安全」や「衛生」などのマークを付けて作業の注意喚起をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1章で簡単な見本題材を製作して基礎をおさえ、2章で課題を見つけ、設計・計画をし、3、4章で評価・活用するといった流れで構成されている。 ・各題材において授業の流れが「見つける」「学ぶ」「振り返る」というステップで示されており、見方・考え方が養われるようになっている。 ・二次元コードが右ページ右上についており、動画コンテンツなどの資料を見ることができる。 ・各章末では持続可能な社会の発展と、技術のプラスとマイナスの資料が掲載され、生徒が自ら考え、判断できるよう工夫がされている。 ・各編に実習の安全な進め方が記載され、別冊でも工具の安全な操作方法を確認できる。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A B版を採用し巻末に付録が付されている。文字はフォントを使い分け親しみやすいイラストや丸みを持たせた図、高画素な写真を使い、見やすくなっている。 ・全編において章立てされており、章毎にインデックスが付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦長変形A B版を採用し別冊が付されている。文字のサイズは大きく太字や資料を示すものに色をつけ、写真には加工がなされておりわかりやすいものになっている。 ・全編において章立てされており章毎にインデックスが付いている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・三浦大根、横浜市の中学校の蓄電池やカーシェアリングなどを取り上げている。 ・基本的な題材から扱い、本市の生徒の実態に応じて発展的に学習を進めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寄木細工、水産技術センター、海洋科学高等学校等、各編で地域と関連した親しみやすい題材が扱われている。 ・題材が豊富に示されており、各学校の実態に合った題材を選び授業に活かせる内容になっている。また、発展的な学習に活用できる。

調査資料

教科： 技術・家庭 種目： 技術・家庭（技術分野） NO. 2

発行者の略称	開隆堂	
書名	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な内容の理解を助けるためイラスト等を多く掲載し、実習例では問題解決の流れを示し、確実に問題解決能力が身につくようになっている。 ・ガイダンスにおいて「生活や社会における技術の役割」が4つの内容に沿って書かれており、見方・考え方が示されている。 ・二次元コードが右側ページの右下に多く用意され、道具の使い方や作業の様子を短い動画で見ることができる。 ・各所に「環境マーク」が使用されるなど、環境との関わりが示されており、循環型社会に対応していく態度が身につくようになっている。 ・作業場面には「安全マーク」があり、それぞれの作業に即した注意点が記載されているほか折り込みページでも注意喚起されている。 	
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A B版を採用し、独自に開発した用紙を使用することで軽量化を図っている。 ・改行の仕方を工夫しているため文章は読みやすく、イラストや写真は濃い色調で表現されている。 	
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎市の体育館、平塚工科高等学校など近隣地域の取り組みについて取り上げている。 ・全編において、歴史年表がついている。作業のポイントが細かく示されており、生徒自ら作業を進めるための工夫がされている。 	

発行者の略称	東書	教図
書 名	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> 自立と共生をテーマに、豊かな生活を目指すために、実践的・体験的に学習活動に取り組むことができるよう編修の工夫がされている。 キャラクターの台詞が、生徒の見方・考え方を働かせるヒントとなっており、楽しく学習が深められるよう工夫されている。 ガイダンスで課題解決する道筋が示され「生活の課題と実践」では実践の進め方、課題設定や思考ツール、まとめや発表の仕方について具体的に示されている。単元末にはワーク形式の「学習のまとめ」もあり、学習の進め方がわかりやすい構成になっている。 「プロに聞く！」では、多種多様な職種が掲載され、将来の職業を考えるきっかけとなっている。 今日的な課題を日常生活と結びつけて考えられるようにマークを用い、内容が強調されている。巻末の「防災・減災手帳」は卒業後も長く活用できる内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「私のアレンジ」では、授業で学んだことをもとに自分の課題を設定することができ、個人の価値を尊重し、創造性を培うことができるよう工夫されている。 「考えてみよう」「話し合ってみよう」等のワークを活用することで、アクティブラーニングを取り入れた授業展開が期待できる。 各単元において「見つめる→学ぶ→振り返る」の3ステップで学習を進められるようになっており、「課題設定のヒント」で習得した知識や技能を、生活へフィードバックできるよう工夫されている。 「センパイに聞こう！」では、職業の楽しさや大切さを伝えており、進路や将来を考えるきっかけとなっている。 防災時の緊急対応として、ポリ袋を使った炊飯方法や、洗濯方法、新聞で代用できるスリッパやトイレなど、中学生でも取り組める具体例が掲載されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> 授業で扱われる用語を自分で調べることができるよう「言葉のページ」には家庭分野の学習に関わる用語解説が掲載されている。 実物大の写真（食品や幼児の使うもの）や、巻末付録の「子どもの視界体験眼鏡」など、実体験に近い経験ができる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の導入に「自立度チェック」があり、自分の生活を振り返り、各分野で何を学ぶかを意識することができる表記になっている。 調理の過程や原寸大の食材の写真等が掲載され、実物や実際の工程がイメージしやすくなっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> Dマークが示した教材では、実験や基礎技能の動画のほか、様々なシミュレーションができるコンテンツや、他教科の内容に関連しているものが紹介され、情報が豊富である。 「助けられる人」から「助ける人」へ、中学生が地域でできることが具体的に挙げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードが掲載されており、手元が大きく映し出される裁縫の映像や、近年交流が難しくなっている幼児との触れ合いに関する動画等、デジタルコンテンツが活用できる。 食物アレルギーの生徒に配慮し、代替できる方法が紹介されている。

調査資料

教科： 技術・家庭 種目： 技術・家庭（家庭分野） NO. 2

発行者の略称	開隆堂	
書名	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問に対し、Q&Aで分かりやすく解説されており、その解決の過程が実験等から科学的根拠に基づいて示されている。 ・「話し合ってみよう」「やってみよう」「生活にいかそう」などの見出しで学習の進め方が示され、学習活動場面がイメージしやすい。 ・「生活課題と実践」では学習した内容を実生活で活用できたり、学習過程がイメージできたりするよう工夫されている。また、各単元の最後の「学習のまとめ」に“学びに向かう力”を評価する問いがある。 ・「先輩からのエール」では、各分野に関連する職業が掲載されており、将来を考えるために参考となる内容になっている。 ・巻末見開き資料で防災についての基礎知識と心構えがまとめられており、災害レベルに合わせた防災対策について学ぶことができる。 	
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元において目標から振り返りまでの一連の流れをパターン化して、わかりやすく表記されている。 ・大きな写真（手形・足形）により生徒が学習に興味関心をもてるよう工夫されており、カラーバリエーションに配慮したイラストを用いることで、多くの人にとってわかりやすい工夫がされている。 	
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードの読み取りで見ることができ動画が、中学生の実態に合わせた内容となっており、視聴覚教材として高い効果が期待できる。 ・電子レンジを使った時短レシピや、使用上の注意が載っており、生徒が調理への関心を持ち、生活に生かせるよう工夫されている。 	

調査資料

教科： 外国語 種目： 英語 NO. 1

発行者の略称	東書	開隆堂
書名	NEW HORIZON English Course	SUNSHINE ENGLISH COURSE
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの目的・場面・状況が明確に設定されているため、学習する英語表現の使用場面が分かりやすくなっている。 ・小中接続については、音から文字につなげる丁寧な構成で、小学校で扱った表現は文法事項として整理されているなど、工夫や配慮が多い。 ・題材や人物の出身国は多様な世界の国々から設定され、社会の多様性への理解が深まる内容となっている。 ・聞く→読む・話す・書く→ Mini Activityを基本的な構成とし、「統合」のページで自己表現活動を通し4技能を高められる。 ・二次元コード→動画有り。本文音声有り、文字有り。単語音声有り、文字有り。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちや考えを発信する場面が各単元に設定されており、生徒が主体的に学習に取り組むことができる。 ・小中接続については、小学校での既習事項を確認するページが多く配当され、小学校で蓄積した知識・能力を定着させるようになっている。 ・「地球市民」として豊かな心を育む題材が扱われ、自国、他国共に尊重する意識を育てる内容となっている。 ・聞く・読む・書く→Retell（発表）→やりとりを基本的な構成とし、「Our Project」では統合的なパフォーマンス活動が設定されている。 ・二次元コード→動画有り。本文音声有り、文字無し。単語音声無し、文字無し。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判 ・発達段階に応じて多様な題材が掲載され、活動が幅広く多岐である。 ・紙面上の要素のデザインや配置が統一されており、生徒が安心して学習に取り組めるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・AB判 ・生徒に必要な情報がまとめられ、単元ごとに活動が整理されている。 ・紙面にゆとりを持たせたり、書体を工夫したり、イラストを多用するなど視覚的な配慮がみられる。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「学び方コーナー」では英語学習のポイントやコツが取り上げられ、生徒の主体的な学習を促す工夫がある。 ・4技能5領域統合的活動については、目的・場面・状況が具体的に明示されており、生徒がパフォーマンスに意欲的に取り組み、高い発信力を養える作りになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出表現の導入は2コマのマンガ形式で、興味を持って取り組めるような工夫がある。 ・4技能5領域統合的活動については、場面と内容が発達段階に応じたものとなっており、3学年では社会的場面で英語を使う力が身につくよう目標設定がなされている。

調査資料

教科： 外国語 種目： 英語 NO. 2

発行者の略称	三省堂	教出
書名	NEW CROWN English Series	ONE WORLD English Course
編修の趣旨と工夫	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心を引き出すような多様な題材やテーマを扱っており、題材を通して幅広く考え、自分の意見を持つ場面設定がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題から、社会、世界へと視点が広がるように題材が設定され、本文の中で生徒が思考を働かせて表現する活動がある。
学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> 小中接続については、入門期は聞く・話すことから導入し、文法のルールや文構造について気づきを促すような工夫と配慮がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中接続については、小学校英語の復習から始まり、身近な言語活動を通して段階的に中学校英語に接続していく構成となっている。
内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人や文化などに触れ社会の多様性を理解して関わっていく力と豊かな心を育む題材が扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界への視野を広げ、日本の文化・伝統を見つめなおす題材が選定されている。
教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> 聞く・読む→話す・書く→まとめの長文を基本的な構成とし、課の最後に「書く・聞く・話す」いずれかを集中的に学習できるようになっている。 二次元コード→動画有り。本文音声有り、文字無し。単語音声有り、文字無し。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞く・読む→話す・書くを基本的な構成とし、さらにTipsというページで表現力を高められるような工夫がなされている。 二次元コード→動画無し。本文音声有り、文字無し。単語音声無し、文字無し。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> A B判 生徒に必要な情報が整理され、学習内容が見やすい見開き構成である。 形や記号、色など様々な補助的要素が使用されており、生徒の理解が進むよう工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> A B判 情報とともに思考の助けとなる写真やイラストが多用されている。 付属の赤色マスキングシートを使用して、生徒の自主学習を促すような工夫がなされている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 各ページの役割や、領域が明確になるような紙面構成で、生徒がやるべきことを把握しやすい工夫がある。 4技能5領域統合的活動については、活動の中に調べ学習を取り入れることで思考力を伸ばしたり、ディスカッション型の活動で主体性を高めたりする工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各レッスンのパートごとに「Goal」が示され、付属シートを用いて反復練習ができる工夫がある。 4技能5領域統合的活動については、生徒が主体的に思考・判断し、グループで協働しながら課題解決を図る内容となっており、発信力を高められるよう工夫がなされている。

調査資料

教科： 外国語 種目： 英語 NO. 3

発行者の略称	光村	啓林館
書名	Here We Go! ENGLISH COURSE	BLUE SKY English Course
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容と構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・本文は3年間ひと続きのストーリーから成り、生徒にとって身近な場面設定で、理解を促し主体的に考えさせるようになっている。 ・小中接続については、中学校の学びにつなげる導入教材から始まり、生徒の理解度を指導者が把握できる構成である。 ・グローバル社会に必要な英語の心・力・意欲の育成が編修の方針で、世界の同世代の意見が紹介されている。 ・聞く・読む→話す・書く→まとめを基本的な構成とし、UnitごとにStory Retellingが用いられており、自分で考えて表現するようになっている。 ・二次元コード→動画有り。本文音声有り、文字無し。単語音声無し、文字無し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語材料への慣れ親しみ、知識・理解の習熟、活用・定着とスモールステップによる学習場面が設定されている。 ・小中接続については、小学校の復習ページが多く配当され、小学校で耳から学習した事項を繰り返し取り上げて文字で再認識させる工夫がある。 ・外国の様々な話題を取り上げて、自国との違いや共通点に気づかせるような題材が扱われている。 ・聞く・読む→話す・書く→まとめを基本的な構成とし、Projectとしてインタビューや発表、日記などを通して自己表現をする場がある。 ・二次元コード→動画無し。本文音声有り、文字有り。単語音声有り、文字有り。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判 ・単元の学習を補うような帯教材や小教材が多岐にわたっている。 ・中学校の配当漢字に全て振り仮名がついており、全ての生徒にとって使いやすい配慮がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判 ・必要な情報が精選されており、学習内容が焦点化されている。 ・行間にゆとりがあり、活動の配列がパターン化されていることで生徒が情報を得やすいようになっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・文字だけでなく画像や音声などを用いてストーリーを予測させ、意欲的に取り組めるような工夫がある。 ・4技能5領域統合的活動については、習得した英語を使って思考・判断・表現をする体験を積み重ねたのち、付属のCAN-DO Listで振り返り、定着を図るようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れ親しんだキャラクターが用いられるなど、興味を持って授業に取り組めるような工夫がある。 ・4技能5領域統合的活動については、3年間を通じて幅広い言語活動が用意されており、生徒自身で課題を見つけ発信力を高められるような配慮がされている。

発行者の略称	東書	教出
書 名	新訂 新しい道徳	中学道徳 とびだそう未来へ
<p>編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 「特別の教科 道徳」 に係る観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭の「話し合いの手引き」「道徳の授業はこんな時間に」では、授業の基本的な流れを体験し、スムーズに取り組めるような配慮がなされており、学習への期待感をもたせている。 ・ 問題解決的な学習が取り入れられており、グループで話し合うことで物事を広い視野から多面的・多角的に考え、道徳的価値を育むことができるような工夫がある。 ・ 「ACTION」では役割演技が取り入れられ、人間関係を築きながら考えを深める工夫がされている。また、全学年を通して内容項目を繰り返し学習できるようになっている。 ・ スポーツ選手、漫画、新聞など様々な教材が取り上げられている。また「つぶやき」コーナーでは、自己の思いを自由に表現して、話し合いの際の材料として整理できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭のオリエンテーションでは道徳科で何をどのように学ぶのかを示した上で、導入時における意識づけをする問いが置かれ、見通しをもって学習に取り組めるようになっている。 ・ 教材の末尾に「学びの道しるべ」が設けられ教材理解だけでなく、生徒が主体的かつ多面的・多角的に考え、深い学びにつながる内容構成になっている。 ・ 多様な指導法で授業を進められるように、様々な立場や考えで意見を取り上げている教材が多く掲載されている。また、漫画が取り入れられるなど視覚的に工夫がされている。 ・ 「まなびリンク」や実態に応じた補充教材が設定され、生徒が考えを深められる内容になっている。生徒が興味・関心をもてるような読み物教材が、多く掲載されている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ AB判サイズで、生徒が考えたり議論したりする時間が確保できるように、教材の文章は短時間で読めるものが中心に掲載されている。 ・ イラストが多く使用されており、教材の中には、その内容に関連した漫画が掲載されているページもある。 ・ ユニバーサルデザイン書体を用いた太めの文字が使用されており、視認性を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ B5判サイズで、短い教材や見て分かる教材が積極的に掲載されている。 ・ 写真とイラストがバランスよく使用され、特に写真はサイズが大きいものが用いられ、ダイナミックに情報を伝えている。 ・ 従来よりも横線が太いユニバーサルデザインフォントが使用され、生徒にとって読みやすいように工夫がされている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年で、防災・安全について扱った教材が取り上げられており、発達段階に応じて考えを深めることができる。 ・ 巻末付録の「心情円」や「ホワイトボード用紙」を話し合い活動の際に活用することで、意欲的な取り組みが期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「六千人の命のビザ」（2年）は本市にゆかりのある杉原千畝氏を題材としており、国際理解や人権について学ぶ上で有効である。 ・ 「取り組みやすさ」が全学年通して重視されており、生徒の発達段階に即した内容と文章量で構成されている。

発行者の略称	光村	日文
書 名	道徳 きみが いちばん ひかるとき	中学道徳 あすを生きる
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 「特別の教科 道徳」 に係る観点	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の最初には「道徳の授業を始めよう！」という教材が記載されており、目的意識をもって授業に向かうことができる。巻末「学びの記録」には、授業で感じたことを記入し、自己を振り返ることができる。 各教材末にある「見方を変えて」「つなげよう」では、主発問と視点を変えた問いで、生徒が多面的・多角的な見方や考え方ができるように工夫がされている。 教材をユニット化することで、読み物教材が有機的に結びつくような工夫がされている。また複数時間で取り組む教材「深めたいむ」が用意され、学びを確実なものにしている。 生徒の実生活で起こりやすい場面に触れ、また「てびき」を設定して学ぶ目当てを明確化するなどして、主体的で深い学びを引き出すよう工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭のオリエンテーションでは、道徳科で学ぶことや学び方が視覚的に示されている。また、「道徳ノート」を活用することで、自分の考え方や感じ方を明確にし、成長を実感することができる。 各教材でねらいに迫るための発問と自己を見つめる発問が示されており、生徒が多面的・多角的な見方や考え方をもち、対話的で深い学びにつながるように工夫がされている。 キャリア教育について、社会との関わりや将来の生き方について発達段階に応じて学ぶ教材構成となっている。 いじめなど現代社会の課題をテーマにしたものを扱い、デジタルコンテンツを活用しながら学びが深められるよう工夫がされている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> B5判サイズで、1教材あたりの分量をおさえることで、生徒が考え、議論する時間を確保できるように配慮がされている。 教材に適した写真や挿絵が効果的に扱われていることで、生徒が興味を持って取りかかれるよう視覚的に工夫されている。 ユニバーサルデザイン書体を使用したり、線の配色の工夫をしたりして、どの生徒にとっても易しく感じるデザインとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> B5判サイズで、教材はキャリア教育に重点を置いているものが中心に採用されている。 各教材の冒頭に主人公の絵や写真が掲載され、生徒が内容把握しやすいよう工夫されている。 ユニバーサルデザイン書体が用いられ、罫線や囲みの使い方が工夫されていることで、どの生徒にとっても読みやすい表記になっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生や国際理解を促す教材やコラムが複数設けられており、外国につながるの多い生徒が多い本市の実態に適している。 各学年で漫画形式の教材や絵本から転載した教材が複数掲載されており、生徒にとって親しみやすくなりやすい内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本市にゆかりのある杉原千畝氏やエドワード・シルベスター・モース氏を扱った教材がある。 「防災教育」「いじめ問題」「情報モラル」などの重要なテーマについて、全学年で系統的・発展的に学習できるように配列されており、学びの深まりが期待できる。

発行者の略称	学研	廣あかつき
書 名	新・中学生の道徳 明日への扉	中学生の道徳 自分を見つめる
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 「特別の教科 道徳」 に係る観点	<ul style="list-style-type: none"> 各教材では主題名を示さず、考えを揺さぶる発問をおくことで、特定の価値観を押しつけず、生徒自らの気づきや考えを促しやすい。また、巻頭に示されている「4つのステップ」により学習が進めやすくなるよう工夫がされている。 生徒が自ら問いを見つけるような教材にすることで、自分の考えを明らかにし、ほかの人がもつ多様な価値観に触れながら「議論する道徳」につながる内容構成になっている。 生命尊重といじめ防止を重点テーマに掲げ様々な意見に触れる体験的な学習ができる内容である。また、情報モラルは系統的に学べるよう各学年2教材ずつ扱われている。 巻頭や巻末に成長の記録や振り返りを設定し主体性や自己肯定感を高めるための配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに設定された「考える・話し合う」で考えるきっかけになる問いが示され、別冊「道徳ノート」への書き込みを通して自己を振り返り、深めることができる。 「学習の手がかり」は、人それぞれの多様な考えを引き出せる問いが示されており、様々な人と考えを交流することで対話的な学習の充実を図る工夫がされている。 豊かな自己形成につながる教材が多く用意され、内面を深く見つめる学習が促されている。道徳ノートの活用により、自己の成長の振り返りができる。 全ての教材の終わりに著名人の言葉が掲載されている。また、インターネットマークが示され、いじめや情報モラルなどについて深く考えられるような工夫がされている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> AB判サイズで、1学年は友情、2学年は社会参画など、発達段階に応じた項目に重点を置いている。 「クローズアップ」「深めよう」のページではイラストやグラフが多様に用いられ生徒が考え議論しやすいような工夫がされている。 ユニバーサルデザインを取り入れた書体やカラーを採用し、すべての生徒に配慮した紙面構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> AB判サイズで、どの学年もいじめ防止に関する教材や実在する人物から学ぶ教材が掲載されている。 全体的に文字が大きく、イラスト配置を工夫するなどページにゆとりがあるため、読みやすい紙面構成になっている。 ユニバーサルデザインを採用し、マークの形状やデザインの違いで必要な情報が読み取れるよう配慮されている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 震災に関わる教材を扱うことで生徒が自分の生活との関わりで考えられるような配慮がされている。 様々な分野で活躍する人物に関する教材、心に響くメッセージ、ダイナミックな写真などが多数掲載されており、生徒が興味・関心を持って学べるように工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラルについて考えることのできる教材が各学年で複数扱われており、日ごろからSNSなどに親しむ生徒が多い本市の実態に適している。 本冊冒頭「自分を〇〇〇」や別冊巻末「心のしおり」を活用することで、道徳における学習活動や考える視点が具体的にイメージできるようになっている。

発行者の略称	日科	
書名	道徳 生き方	
<p>編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 「特別の教科 道徳」 に係る観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 答えが1つではない道徳的価値観がぶつかり合う教材が用意され、考え、議論する道徳になるよう配慮されている。 ・ 教材文の最後を未完結とし、自然と生徒が自身の問題として考え、議論することにつながる工夫がされている。 ・ 各教材で主題名が示されないことで、特定の価値観を押しつけず、生徒自らの気づきや考えを促す工夫がされている。 ・ 展開に連続性のある教材が用いられ、生徒の日常が描かれることで実際に直面するような悩みや葛藤に向き合った学習ができるような構成になっている。 	
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 判型はB5判サイズで、取り扱われている内容項目は幅広く、文章量はやや多めになっている。 ・ 色鮮やかな写真が多く用いられ、教材の中には見開き2ページにわたって写真が大きく掲載され、視覚的にダイナミックに訴えられるような構成になっている。 ・ 多くの教材が右ページ始まりとなっており、生徒にとって読みやすい構成になっている。 	
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市にゆかりのある杉原千畝氏や隣市出身の宇宙飛行士野口聡一氏を扱った教材がある。 ・ 各学年にワーク方式を取り入れた教材やストーリーに連続性のある教材が掲載されており、思考と議論を年単位で積み重ねられるように工夫がされている。 	

令和3年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会 調査員一覧

教科	種目	氏名	所属	氏名	所属
国語	国語	坂井 俊哉	六会中学校	深澤 春香	湘南台中学校
		大橋 賢也	藤ヶ岡中学校	鈴木 幸	高倉中学校
		吉岡 禎浩	善行中学校		
	書写	深澤 友美	湘洋中学校	泉 東風子	大清水中学校
及川 麻友子		大庭中学校			
社会	社会(地理的分野)	宇田川 慎一	片瀬中学校	長島 瞳	高倉中学校
		兼岡 里衣	高浜中学校	巨海 亮二	羽鳥中学校
		木村 健太郎	湘南台中学校		
	社会(歴史的分野)	里見 昭	明治中学校	伊豆原かおり	村岡中学校
		山浦 史士	鵜沼中学校	宇梶 正章	滝の沢中学校
		居木 正	長後中学校		
	社会(公民的分野)	有留 志保	明治中学校	内海 友之	長後中学校
		田原 浩平	六会中学校	杉原 啓人	湘洋中学校
		日下部 佑介	片瀬中学校		
	地図	中村 雄伴	湘南台中学校	服部 和人	羽鳥中学校
小泉 靖志		高倉中学校			
数学	数学	森 翔子	第一中学校	舟橋 亜希子	藤ヶ岡中学校
		政近 吉郎	明治中学校	丸山 智則	秋葉台中学校
		足達 航	御所見中学校		
理科	理科	桐山 雄三	第一中学校	田中 牧子	大庭中学校
		大野 寛子	六会中学校	廣瀬 陽子	大清水中学校
		和田 盛孝	湘洋中学校		
音楽	音楽(一般)	長田 布由美	片瀬中学校	野崎 祥恵	善行中学校
	音楽(器楽合奏)	石井 力	藤ヶ岡中学校	高知尾 真優	大庭中学校
美術	美術	小野 裕史	鵜沼中学校	秦 郁子	高浜中学校
		成田 沙織	湘洋中学校		
体育健	保体	高田 謙吾	第一中学校	池田 裕	大庭中学校
		五島 麻美	村岡中学校		
技術・家庭	技術・家庭(技術分野)	山科 隆典	鵜沼中学校	荒船 友樹	高浜中学校
		市丸 祐介	湘南台中学校		
	技術・家庭(家庭分野)	大村 裕美子	第一中学校	三浦 利絵	大庭中学校
		近藤 雅美	六会中学校		
外国語	英語	三浦 由美	御所見中学校	乙幡口一う絵美里	湘南台中学校
		大野 仁寛	高浜中学校	小林 美樹	滝の沢中学校
		吉田 早希	秋葉台中学校		
特別の教科 道徳	道徳	熊澤 希実	明治中学校	今井 駿	善行中学校
		池谷 陽子	片瀬中学校	望月 俊彦	大清水中学校
		川島 拓	御所見中学校		